

参院選アピール(第2回中央委員会決議)

いよいよ参議院選挙！全国大会以降の教訓を生かし、展望を語り、強く大きな同盟をつくりながらたたかおう！新しい社会への大きな一歩をふみだそう！

2022年5月22日 民青同盟中央委員会

1、激動の情勢のもと、民青同盟が変化する青年と響き合ってきたことを確信にしよう

全国大会から5ヶ月が経ちました。民青同盟の様々な活動が、激動の情勢のもとで変化する青年と響き合ってきた。このことが実践によって全国各地で学習会をおこなうことも実感できる5ヶ月間だったのではないだろうか。

民青同盟は、ロシアのウクライナ侵略が開始されると、いち早く街頭で声をあげ、ロシアを国際的連帯で包囲する一端を担いました。「自分もなにかしたい」と青年が話しかけてきて、一緒に宣伝をしたり、加盟したりする経験が全国で次々とつづられました。自民党や維新の会がこ

事を思った」といった前向きな反応があり、それによって同盟員が励まされ、年の見方を変えさせるなど、草の根から新自由主義転換の力強い動きを発生させる条件づくりもなっています。聞き取りに協力してくれた青年が加盟する経験も生まれています。

民青同盟としておこなってきた学生新歓運動で、新入生の困難に寄り添い、意欲を引き出し、例年以上の仲間を迎えられました。コロナパンデミックが続くなかで、「生活が不安」「よりよい大学生活を送りたい」という思いに丸ごと民青

2、日本と青年の未来を決める重要な選挙に民青同盟らしく取り組んで、青年のなかに変化を起こし、共産党躍進を引き寄せよう

(1)参院選の意義とそれに民青同盟が取り組む意味について

来る参院選は日本と青年の未来を決める重要な選挙です。この選挙の意義及び民青同盟がこの

参議院選挙に向けて決意固め合った 東京

民青同盟東京都委員会、日本共産党東京青年学生後援会などは15日、日本共産党本部で参院選に向けた「学習&交流キックオフ集会」を開きました(左写真)。共産党・東京選挙区候補の山添拓参議院議員の演説、共産党東京都委員会の香西克介青年学生部長からの情勢報告の後、各地域や学園、職場からの発言がありました。

山添議員は1つ目に、今度の選挙が平和と憲法9条がかかったとしても負けない選挙だとして、9条を生かした平和外交という声を、自信を持ってうたった。庄倒的に広げていきたいと話しました。2つ目に、自己責任を押し付ける「もろくて弱い経済」を大転換し、日本を「やさしく強い経済」にするチャンスだと話しました。

続いて香西青年学生部長が報告しました。今度の参院選につ



いては、戦争か平和か—ウクライナ侵略と日本の進路について問われる選挙、新自由主義から「やさしく強い経済」への大改革で、暮らしを守り日本経済を立て直すことが問われる選挙と報告。東京は政党を選ばず例を軸に激しい争いになっており、東京選挙区で日本共産党から立候補する山添拓さんの議席はかけがえない値打ちがあると語りました。180万人の東京の10代20代の有権者に政治を変えたい希望を届け、仲間を増やしながらたたかうことが必要だとうたった。

参院選アピール(第2回中央委員会決議)



民青中央委員会と民青東京都委員会は共催で緊急宣伝を行った(2月28日、池袋)

よるウクライナ侵略を口... 9条を生かした平和外交を... 第二に、今回の参議院選挙は新自由主義からの転換に踏み出すかどうか問われる選挙です...

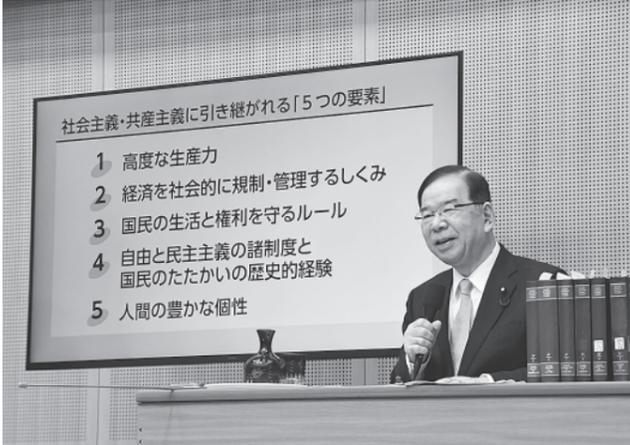
の生活がさらに圧迫され... 第二に加えて、民青同盟として挑戦したいのは、今回の参議院選挙を、社会主義・共産主義という資本主義のさら

なかにできることもたくさんあります... 日本共産党の躍進が切実に求められている

も「社会主義は言... 日本共産党の躍進して、日本の政治は前に進みます...

3、選挙のなかでこそ同盟建設を進めよう—4つの強化方向

選挙に取り組むなかでも貫き通しましょう... 第一に、週一回の班会を開催を継続・挑戦し、班プランを作成し、班活動発展の土台をつくりま



「学生オンラインゼミ第二弾」で社会主義・共産主義を語る志位和夫・日本共産党委員長(4月17日)

「学生オンラインゼミ第2弾」がブックレットに!

『科学的社会主義Q&A 学生オンラインゼミで語る』 6月1日発売! 400円

発行: 日本民主青年同盟中央委員会 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2 TEL:03-5772-5701 Mail:info@dylj.or.jp HP:www.dylj.or.jp



※お近くの日本共産党事務所でも取り扱っていますので、お問い合わせください

参院選アピール(第2回中央委員会決議)

第二に、学習を思い切ったことである。同時に、全国の拡大目標達成との関係ではもうひと踏ん張りが必要状況である。大会決議は、(i) 目標を決める、(ii) 班や同盟員の結びつきを書き出し、対象者名簿をつくる、(iii) それぞれの青年がどのような願いをもっていかつかつ、(iv) その青年が民青に加盟する意義をよく交流する、そして(v) 知る会の約束をとり、(vi) 加盟呼びかけ文を活用していきうえでも、参院選に生きいきと取り組むうえでも、「学生オンラインセミナー第二弾」はこれ以上ない学習教材となり得る。今ある動画とともに、5月末には加筆・修正されたブックレット「科学的社会主義Q&A」も発行予定です。参院選に向かうなかでこれらを学習の主軸としながら、学習セミナーや班会での学習を進め、学びながら選挙をたたかきましょう。すべての同盟員が「学生オンラインセミナー第二弾」の視聴かブックレットを讀んで選挙に臨むことを目指します。学んだことを周りの青年に発信したり、周りの青年とともに学んだりすることも大切にしましょう。

第三に、大会決議に基づき同盟員拡大の独自追求を改めておこなうことです。先にも述べた通り、同盟員拡大は青年の変化と全国の努力によ

って、この間にない拡大数となっていきます。同時に、全国の拡大目標達成との関係ではもうひと踏ん張りが必要状況である。大会決議は、(i) 目標を決める、(ii) 班や同盟員の結びつきを書き出し、対象者名簿をつくる、(iii) それぞれの青年がどのような願いをもっていかつかつ、(iv) その青年が民青に加盟する意義をよく交流する、そして(v) 知る会の約束をとり、(vi) 加盟呼びかけ文を活用していきうえでも、参院選に生きいきと取り組むうえでも、「学生オンラインセミナー第二弾」はこれ以上ない学習教材となり得る。今ある動画とともに、5月末には加筆・修正されたブックレット「科学的社会主義Q&A」も発行予定です。参院選に向かうなかでこれらを学習の主軸としながら、学習セミナーや班会での学習を進め、学びながら選挙をたたかきましょう。すべての同盟員が「学生オンラインセミナー第二弾」の視聴かブックレットを讀んで選挙に臨むことを目指します。学んだことを周りの青年に発信したり、周りの青年とともに学んだりすることも大切にしましょう。

第四に、役員が方針討議・実践の先頭に立つこととす。決定に基づく役員の奮闘は、「班が主人公」をつくりだす大きな力になっていきます。「生」の運動は役員がまず取り組むことによって全体としての取り組みが進みます。学生新幹運動の学生同盟員の立ち上がりは、役員が新幹論文を正面から討議して行動を提起したことでつくられ

### 4、参院選で役割を果たすための行動提起

具体的な取り組みの行動提起は以下の通りです。3章までの内容を踏まえつつ、心ひとつにや

ました。週一回の班会開催も、その方針を提起する役員が存在が決定的です。大会決議は4章(2)で、都道府県・地区委員とともに、役員としての班長・班委員の活動を位置づけています。あらためて大会決議に立ち返り、役員活動を直し発展させましょう。

戦争か平和か、新自由主義の継続か転換か、それが問われる参院選で、参院選で共産党の躍進と、青年の大きな変化を勝ち取りましょう。

また、社会主義・共産主義という展望を青年に伝えられるかどうか、この点でも民青の存在が欠かせません。いま、民青同盟が強く大きなこと

①「変えよう決議」をあげて「班かおう」——全班的な選挙に

——参院選アピールを討議し、すべての班で「日本共産党と一緒に変えよう決議」をあげよう

——地域・職場・学園で共産党支持の根を根から宣伝・対話を広げ、変化をつくらう

——自分たちと結びつけていくことを大切に

②学習し、展望を示しながらも取り組む選挙にしよう——学ぶことで民青同盟員らしくたたく選挙に

——すべての班で参院選

班の「日本共産党と一緒に変えよう決議」

参院選アピール(第2回中央委員会決議)を討議して、班の「変えよう決議」をつくらう!

- 2章(1)を讀んだ感想をみんなできよく交流しよう!
- いまの政治を変えたい思い、実現したい願いを交流しよう!
- 共産党を躍進させたい思いを交流しよう!
- 班で「変えよう決議」を上げるために班の基礎数を確認しよう  
班の過半数の同盟員からの賛同を得て、班で「変えよう決議」を上げよう!
- 賛同した同盟員の人数  
議決して議決し、共産党について学びながら賛同する同盟員を呼びよう!

★参院選に向けて対話・支持拡大目標を決め、宣伝行動の具体化や結びついている友達、同僚への働きかけに踏み出そう!

▲中央委員会作成の「日本共産党と一緒に変えよう決議」シート(表面)

現代と日本の進路を照らす理論政治誌

# 前衛

発売中 6月号 No.1014 定価744円(税込) 送料95円

購読のお申し込みは、お近くの日本共産党の事務所、または下記へ  
日本共産党中央委員会出版局/電話 03(3470)9636 FAXの場合は03(3470)1505  
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

暮らしの焦点 枯葉剤原料の国有林埋設問題 川辺隆史  
矛盾と破壊は明瞭 外環道工事はただちに中止を とや英津子  
メディア時評 [新聞]戦況報道と「抑止力」の大合唱 千谷四郎  
[テレビ]表現の自由への放送の姿勢 沢木啓三

「前衛」購読申し込み書 ●6月号 ●定期購読 どちらかに○を  
お名前 住所 〒 ( )  
ハガキにはって、またはFAXで上記へお送りください。

新自由主義を転換し、やさしく強い経済を実現しよう

ロシアのウクライナ侵略と日本共産党の立場

志位和夫著『新・綱領教室』のすすめ 田中 悠

特集 沖縄復帰50年が問われているのか

復帰にこめた平和と命への思いと 女性たちのたたかい

沖縄問題の核心としての米軍基地の問題

——国家や法は、誰のための、何のために存在するのか

日米地位協定の抜本的改定に向けて

——沖縄県の地位協定見直し要請をもとに

なぜ沖縄に子どもたちの貧困は 居座り続けたか

山野良二 宮元

新自由主義的の改革を転換し、じっくり教育・研究できる大学へ

いまこそ校則を変えられるチャンス

——みんな考えてみませんか?

知的障害者とその家族の貧困

水素アンモニア燃料は気候変動対策の切り札か

梅村ささこ 田中智子 桃井貴子

「赤旗」と日本共産党を語る(下)

小本曾陽司/山本豊彦/米倉春奈

高校生憲法アンケート(2020)「集計結果報告」

波岡知朗

平和、ジェンダー平等——憲法は力

角田由紀子(弁護士)

にひそうへい

参院比例代表選挙定候補 井藤里子

小松健一